



# 薬の伝言板 ～水虫（足白癬）～



No.307 2023年6月

丸子中央病院 薬局

梅雨の季節ははじめじめとした湿気が気になりますよね。湿度が高い時期は、水虫に注意が必要です。水虫は、カビの一種である白癬菌が、皮膚に増殖することで起こる感染症です。白癬菌は足、手、爪、体、頭などに感染することがありますが、今回はその中でも足の水虫（足白癬）について紹介します。

## 足の水虫の症状

**趾間型**：足の指の間が白くふやけたり、赤くジュクジュクとして皮がむけたりします。

**小水疱型**：足の裏やふちに小さな水疱ができ、日がたつと赤くなって皮膚がむけてきます。かゆみが強いのが特徴です。

**角質増殖型**：足の裏やかかとかかさがカサカサと乾燥し、角質が厚く硬くなり、皮膚がむけ、ひび割れを伴うのが特徴です。



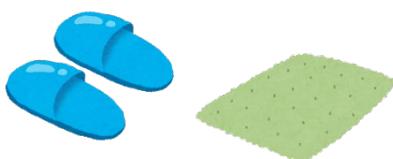
## どうして水虫になるの？

水虫の原因である白癬菌は、皮膚のたんぱく質を栄養源とし、**温かく湿った環境を好みます**。そのため、靴下や靴で覆われ高温多湿となりやすい、足の皮膚の角質層で白癬菌が増えて感染を起こします。



白癬菌は、水虫の人の皮膚からはがれ落ち、ほかの人の皮膚に付着することでうつります。

よって、水虫の人がいる家庭や公衆浴場、スポーツジムやプールなど、はだしで歩く場所は注意が必要です。また、糖尿病の人、肥満の人、足の血行が悪い人などは、感染が起こりやすいといわれています。



水虫の人と足ふきマットやスリッパなどを共有することは感染のリスクを高めます

## 水虫の治療薬

基本的には外用の抗真菌薬で治療します。外用薬を使用しても効果不十分なときや、症状がひどいときは、内服薬が使われることがあります。

	代表的な成分名
外用薬	ルリコナゾール、ビホナゾール、ケトコナゾール クロトリマゾール、ラノコナゾール、エフィコナゾール テルビナフィン、ブテナフィン
内服薬	テルビナフィン イトラコナゾール

外用薬には軟膏剤、クリーム剤、液剤、スプレー剤などの種類があります。ジクジクしているか、カサカサしているか、水泡が潰れていないか、などの水虫の状態や、使用感に応じて剤形が選択されます。



水虫は、きちんと治療すれば、90%ほどの治癒率が見込まれます。外用薬を塗るときは、症状の出ている部分だけでなく、指の間から足の裏全体に塗るようにしましょう。また、症状が治まっても、しばらくの間は塗り続けるようにしましょう。

## 水虫の予防には



白癬菌は、付着してもすぐに感染するわけではありません。感染を成立させないようにすることが大切です。

### ・足を清潔にし、乾燥した状態を保つ

足を洗う時は、指の間までしっかり石鹸で洗い、すすいだ後はタオルでしっかりと水気をふき取りましょう。靴や靴下は通気性の良いものにし、足が蒸れないようにしましょう。

### ・環境を清潔に保つ

家族に水虫の人がいる場合は、スリッパや足ふきマットを共用しないようにし、床や畳の掃除やカーペットなどの洗濯をこまめにするようにしましょう。

水虫は、成人男性に多いイメージですが、女性や子供も感染することがあります。高齢者にもよくみられます。水虫と似た症状が出現する別の病気もあるため、医師の診断を受けたもとの、正しく治療しましょう。

